

曾根小学校4年1組「茶の間プロジェクト」

地域の茶の間って？

『地域の茶の間』は、公民館や集会所を利用して、子どもから高齢者、障がいのある方、子育て中の親子など、地域に住む誰もが気軽に立ち寄り、自由に時間を過ごせる『自宅のお茶の間のような場』のことです。自由に過ごせるので、おしゃべりをしてもいいですし、文字通りお茶を飲んでもいいですし、折り紙やトランプなどの活動をしてもいい場所です。茶の間が主催するイベントを行っている場所もあります。

週に1回以上活動している茶の間は、新潟市西蒲区だけでも15ヶ所あります（新潟市HPより）。実は、新潟市に茶の間ってたくさんあるんです。

この『地域の茶の間』を通じて、誰もが安心して暮らせるような、助け合い、支え合える、地域のつながりが生まれます。ぜひ、たくさんの方に元気になってもらいたいです。

「かさぼこの家」ってこんなところ！

茶の間「かさぼこの家」は、越後曾根駅から西川へ向かう途中にある、鱸神社の隣にある鮎公民館（新潟市西蒲区鱸583）で毎週水曜日に開催されています。時間は10時～12時の2時間です。

「かさぼこの家」は、平成28年にスタートしました。常時20人ぐらいの方が活動されています。活動内容としては、「元気に過ごす」をテーマに、健康管理のお話を聞いたり、音楽セラピーをしたり、コーヒーやお茶を飲みながらおしゃべりなどをしたりと、かなり自由に活動を行っています。月末には、ビンゴ大会も開催しています。

鮎公民館は、かなり広く、ゆったりとしたスペースで自分のやりたい活動ができます。

「かさぼこの家」は200円の参加費が必要です（中学生までは無料）。この参加費は、お茶やコーヒー、お茶菓子に使われます。

「かさぼこの家」はみんなが気軽に行って楽しくおしゃべりをしたり遊んだりできる、すてきな居場所のような空間です。私たちも授業でお邪魔させていただくことがあります。ぜひ、来てください！

4の1とかさぼこの家のかかわり

わたしたち4年1組は、4月から始まった総合的な学習の時間で、「福祉」をテーマに「地域の茶の間」とかかわりながら学習を進めています。

わたしたちが暮らしている西蒲区の西川地域は、高齢化率が高く、一人でさびしさをかかえている人も多いと知りました。また、そんな人たちが「茶の間」という場所に集まり、何気ないおしゃべりをしたり遊んだりしながら、人との関係性や地域のつながりをつくっていることも知りました。

わたしたちは今、曾根小学校の近くにある「かさぼこの家」を拠点に学習活動を進めています。「かさぼこの家」を利用しているみなさんは、とっても優しく、温かいです。「かさぼこの家」全体が温かい空間になっています。そんな、「かさぼこの家」が「もっとよりよい場所になってほしい」という願いをわたしたちはもっています。そのためには、『今より人が増えることが大切である』と考え、今回「ふやそうプロジェクト」の1つとして、にしかわねっと便りのページをいただくことになりました。「かさぼこの家」は、だれが行ってもいい場所です。ぜひ、多くのみなさんに、一度足を運んでももらいたいです。利用者のみなさんも、楽しみに待っています。

今回の学習を進める中で、新潟市西蒲区社会福祉協議会の方から「福祉」とは、「ふだんのくらしのしあわせ」であると教えていただきました。わたしたちは、総合的な学習を通して、地域のみなさんの「ふだんのくらしのしあわせ」を一つでもつくりたいと考えているところです。



作成：新潟市立曾根小学校 4年1組